○○●●に関する●○××の比較

上下左に3 cm，右に8 cmの余白

25文字×24行で記載

本文のフォント, 和文は明朝体，英文はCentury

サイズは10.5ポイント

関東　一1,†･東山秋実\*・病虫研太郎\*\*

責任著者の氏名（英名にも）の後に†（剣印・ダガー）を記載し，脚注部分にメールアドレスを記載

（△△県農業試験場・\*××大学農学部・\*\*株式会社〇〇〇）

イタリック指定は実線の下線

ゴシック指定は波線の下線

スモールキャピタル指定は二重の下線で指定

Comparison of ●○×× About ○○●●, *○○●● ●●○●*

英文表題は単語の頭文字を大文字にする（冠詞、4文字以下の前置詞、等位接続詞は除く）

Hajime KANTO2,†, Akimi HIGASHIYAMA and Kentaro BYOUCHU

1　現在　△△県農林水産部

2　Address: △△ Agricultural Research Station, 2983-88 ××××, △△△, Japan

† kanto\_h@pref.sankaku.lg.jp

2020年　　月　日受領

2020年　　月　日登載決定

改ページ

摘要

○○●●に関する……

………であった。

キーワードは英語で5語以内

アルファベット順

学名や地名，固有名詞の頭文字は大文字

学名はイタリック体

Key words：*Aaaabb bbbcc*, insecticide susceptibility, IPM, Peach orchard

　○○●●*○○●● ●●○●*（○○●科；○○●属）は，…として知られている。…

改ページ

そこで，本研究では…………を検討した。

材料および方法

小見出しのランクは

１．，１），（１）の順とし，小見出しの数字は全角

１．■□○○の○◎

1. 試験方法

（１）●○××の◎△

（２）××△の○○□

（３）統計検定

結果

１．●○××の◎△

図表の位置を余白部分に指定

（第1表）

２．××△の○○□

（第1図）

考察

引用文献

・引用文献はアルファベット順，暦年順

・カッコ()，ページ間のハイフン，コロン，カンマ，ピリオド，英字，数字はすべて半角として字間も半角（ただし，日本語の氏名間，・（点）は全角）

・半角コロン，カンマ，ピリオド等の直後には半角スペースを挿入

・引用文献のもれがないかチェックする

星野　滋 (2013) 第18回農林害虫研究会講演要旨<http://www.agroipm.sakura.ne.jp/2013meeting/a-8.pdf>, (参照 2019-10-15). (講要)

Malais, M. and W. J. Ravensberg (1995) 天敵利用の基礎知識 (矢野栄二監訳). 農文協, 東京. 92pp.

水沼正好 (2006) バイオコントロール 10(2): 12-16.

森　喜作ら (1968) 農業および園芸 43: 376-380.

欧文著者の引用文献の入力ミス（氏名の順や名前のイニシャル入れ忘れ，ピリオド入れ忘れ等）が多いので注意

Nakamura, K. and K. Kawasaki (1977) Appl. Entomol. Zool. 12: 162-177.

根岸　進ら (2014) 関東東山病害虫研究会報 61: 179. (講要)

小倉愉利子ら (2014) 関東東山病害虫研究会報 61: 13-17.

鶴田伸二ら (2001) 九州病害虫研究会報 47: 103-107.

矢野栄二 (2003) 天敵 生態と利用技術. 養賢堂, 東京. 296pp.

新しいセクションで改ページ

Wordの場合，［レイアウト］→［区切り］→［セクション区切り］

半角スペース

全角スペース

例）

根岸　進ら (2014) 関東東山病害虫研究会報 61: 179. (講要)

( ) : . , – いずれも半角

図表のページは，行番号不要

必要に応じて用紙の向き変更可

第1表　○○●における○○●●の関係

図表の貼付は，「貼付のオプション」－「形式を選択して貼付」－「図（Windowsメタファイル）」を推奨

図（Jpeg），図（U）での貼付は非推奨



a) 同一英文字間に有意差なし（角変換後の数値におけるTukeyのHSD検定，*p* > 0.05)．

b) 発生度は○○○○により算出した．

文末にピリオド

・表中に縦線や色は用いない

・不要な横線は入れない

・本文と同じフォントを使用（和文：明朝体，欧文・数字：Century）

・注釈は a)，b)（上付）を用いる

・個々の図表で種名を記述する場合，初出の属名は省略しない

半角スペース入れる

グラフ

・図全体でフォントを統一させる

・軸は0.75ポイント以上の太さで黒色を使用する

　（灰色で作図して提出する例が多いです）

・不要な横線は入れない

・各軸にはラベルを記載する

・ラベルや目盛等の文字色は黒色を使用する

　（灰色となっている例が多いです）

・凡例は図内に描く

・白黒印刷で見やすくなるよう，マーカーや線種，棒グラフ内のパターンを選択する

・複数のグラフを1つの図とする場合は，各パーツ（枠や凡例等）の位置をそろえる



第1図　○○●●の△□の××

A区：○○, B区：××, C区：△△, …．○○は3反復の平均値±標準誤差で示した．グラフ上の同一英文字でつながる水準はTukeyのHSD検定による5％レベルで有意差がないことを示す．

文末にピリオド

改行しない

写真

・原図は高画質かつ十分な解像度（300 dpi以上）のものを準備する（原図は最終原稿提出時に提出いただきます）

・原稿投稿段階では，ファイルサイズが大きくなるのを避けるため，図の圧縮により解像度を落として貼り付ける

・図の説明で使用する記号，矢印，文字は写真の背景から目立つようにする

・顕微鏡写真には，スケールマーカーを入れる



第2図　○○●●の△□の発生状況

A：○○●●の××，B：●●○○の▽▽．